

【添付資料 2】

燃料電池ハイブリッドバスの概要

FCHV BUS 2 (愛・地球博へはこの改良版を導入予定)

愛・地球博に導入する燃料電池ハイブリッドバスは、トヨタと日野自動車(株)が2000年より共同で開発してきた高圧水素を燃料とする燃料電池ハイブリッドシステム搭載のノンステップ大型路線バス「FCHV-BUS2」の改良型。

「FCHV-BUS2」は、高性能燃料電池「トヨタFCスタック」を搭載するとともに、プリウスや日野HIMRシステムのハイブリッド技術を応用し、減速時のエネルギー回収をはじめ、運転状況に応じて燃料電池と2次電池からモーターへの電力供給を精密に制御することで、高効率な運転を可能としている。

【参考：FCHV-BUS2 主要諸元】

車両	ベース車両	ブルーリボンシティ (日野ノンステップ大型路線バス)
	全長 / 全幅 / 全高	10,515 / 2,490 / 3,360mm
	最高速度	80km/h
	乗車定員	60人仕様
燃料電池スタック	種類	固体高分子形
	出力	90kW × 2
モーター	種類	交流同期電動機
	最高出力	80kW × 2
	最大トルク	260N・m × 2
燃料	種類	純水素
	貯蔵方法	高圧水素タンク
	最高充填圧力	35MPa (350気圧)
2次電池	形式	ニッケル水素電池



FCHV - BUS 2 (愛・地球博へはこの改良版を導入予定)

FC(燃料電池)バス運行経路予定図

